

河川協力団体

幾春別川をよくする市民の会

平成3年10月、約110年ぶりに岩見沢市を流れる幾春別川にサケが遡上し、このことをきっかけに結成された「サケを蘇らせる会」が前身となって発足しました。

幾春別川の清流に魚が泳ぐ、親しみと潤いのある川にするとともに、「サケの遡る川づくり」・「ふるさと岩見沢の川づくり」を目指して、快適で健全な生活環境をつくることを目的としています。

【平成5年（1993）設立】

河川協力団体としての活動内容

（平成26年3月31日河川協力団体指定）

石狩川水系幾春別川

河川清掃、自然体験学習



主な活動状況



ふれあいメンテナンス

草刈りや過年度に植栽したハマナスの剪定、緑の回廊事業として植樹した樹木の剪定を行いました。

（平成27年7月10日、8月26日、9月24日）



サケの特別採捕見学会

地元小学生67人の児童がサケの遡上に関する学習、水質調査、水生生物の観察、鱗の観察を行いました。児童は水生昆虫やウグイ等の魚に触れてとても驚いた様子でした。

（平成27年10月29日）